

委員名	該当箇所	意見	対応
諸橋会長	P5	例年のように、膨大な事業が予定され、コロナ禍とはいえよく実施されたと思います。「未実施」が２３件にとどまり、「評価４」が増えたのは致し方ないことでしょう。	意見として答申書への反映を検討します。
	P4～14	４ページ以降の「施策指標」、５ページ以降の「達成状況評価」の年号についてなのですが、西暦の併記をお願いします。 「施策指標」の目標値である「平成３２年度」にいたっては、いつのことかわかりませんので、西暦とともに「令和」の年度も参考につけた方がいいかと思います。	修正します。
	P15～	「実施状況」レポートのところですが、「重点項目」に該当する事業箇所にはその旨を明記してください。	修正します。
	-	審議会の女性の比率についてですが、個別の「実施状況」レポートには（全部の会議体ではないようですが）データが載っているものの、全体が一覧されていないので、全会議体の女男比率の１ページが欲しいです。	年次報告書の前半部分「和光市の概況」の中で掲載します。
	P23、40	性教育やリプロのところが、「発達段階に応じて」と、毎年よくわからない記述になっていますが、次回からもっと具体的に書き込んでもらうように教育委員会など担当部署にお願いしていただけないでしょうか。 ２０２０年度は、はからずもネットによるセミナーなどが試み始められていますので、今後もＩＣＴを活用しての啓発活動や、ＤＶ被害者への働きかけや救済が、大事な取り組みとなりそうですね。	意見として答申書への反映を検討します。

委員名	該当箇所	意見	対応
大澤副会長	全体	コロナ禍で、実施できなかった事業数も多いが、工夫をして実施している事業も多く、全体的には評価できると思いました。特に、このような状況の中、セーフティーネット機能となる事業は縮小はあってはいけないと思っています。	意見として答申書への反映を検討します。
	P18、20	1-2-3-1, 1-3-1-1のように、申し込みがなく開催できなかったものについて、評価を2していいのか疑問が残る。実施できなかった点では、「評価4」と同じ結果である。他の評価2の内容とは異なると思うので、評価3にする、などの対応が必要ではないでしょうか	市民からの申込がなく実施できなかった取組ではあるが、講座開催につながるような取組を行う余地はあることから、「評価2の概ね取り組むことができた」ではなく、「評価3の一部取り組むことができなかった」に修正します。
	P50	4-2-2-4は、避難所設置がなければ、両方とも評価5ではないでしょうか	修正します。
柳下委員	P4	1行目 「13の」を削除するか位置をかえるとよいのでは？	修正します。
長田委員	P26	女性相談の所管の変更を検討をしていく予定があるならば（部署の変更などがある場合）、利用者に相談窓口をわかりやすくお知らせしてほしい。また、利用者にとってより良い体制や対応がなされるように、検討していただきたいと思います。	部署の変更などがあった際には、速やかに周知等の対応を行っていきます。
	全体	コロナ禍で大勢が集まるようなセミナーなどが開催できない状況でしたので、今後のセミナーの開催方法について、総務人権課が今後の方向性の中で挙げているように「オンラインでの開催」など視野に入れて、ほかの部署も検討をしていただけるようお願いしたいと思います。	意見として答申書への反映を検討します。
菅委員	全体	男女共同参画の市民への周知について工夫が必要ではないかと考えます。 市のHPでは「教育と学習」のカテゴリから入っていく様になっていますが、そこで良いのか。広くPRするにはトップページのバナー表示などアクセスされ易い方法を検討願います。	意見として答申書への反映を検討します。

委員名	該当箇所	意見	対応
栗原委員	-	昨春からの社会状況下で「生活に困っている家庭に対して、どのように支援の情報を届けるか」という課題があると思います。特に、女性がシングルで子育てしている家庭の状況がとても気がりです。個人情報保護の観点に立つとき、社協や民間の情報をピンポイントで届けることが難しいと感じています。現状では先方からのアポを待つしかないのでしょうか。	意見として答申書への反映を検討します。 【参考】 児童扶養手当（ひとり親の方、所得制限あり）を受けている方は、2 か月に 1 回、相談員が作成したあすなろ通信を送付しているため、そこへの掲載について検討できます。